



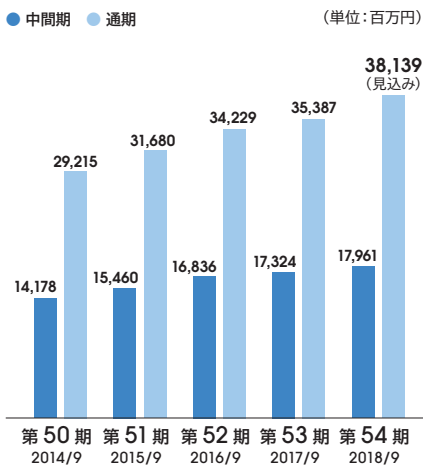
# Fuji Pharma IR Report

第54期 第2四半期報告書 2017年10月1日～2018年3月31日

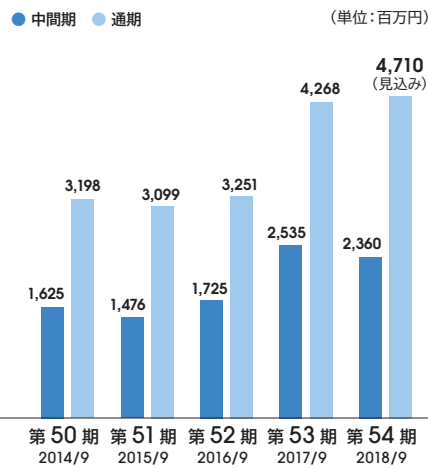
証券コード | 4554

## FINANCIAL HIGHLIGHT 決算ハイライト

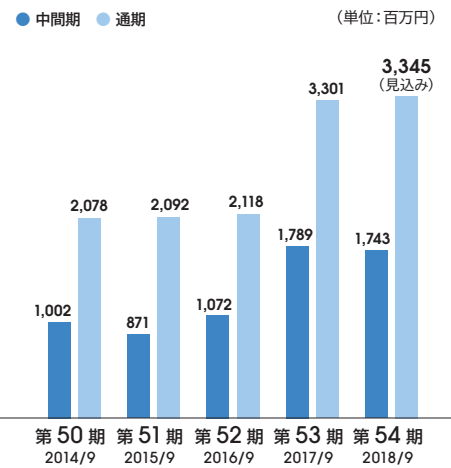
### 売上高



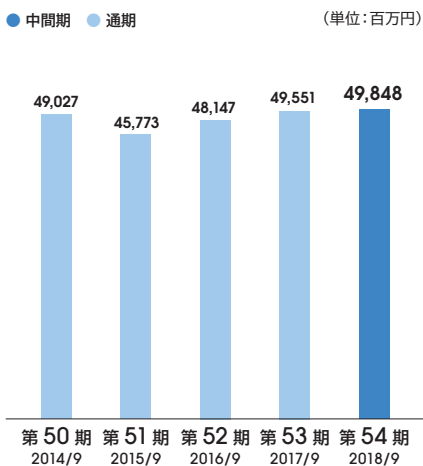
### 経常利益



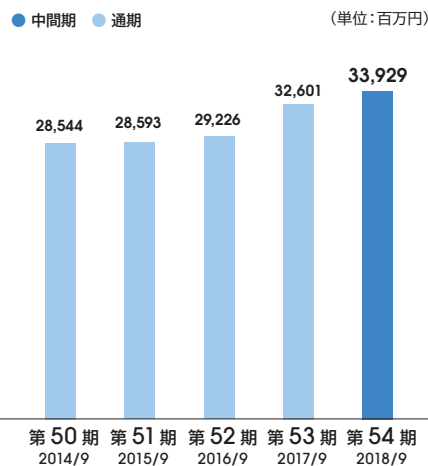
### 親会社株主に帰属する当期純利益



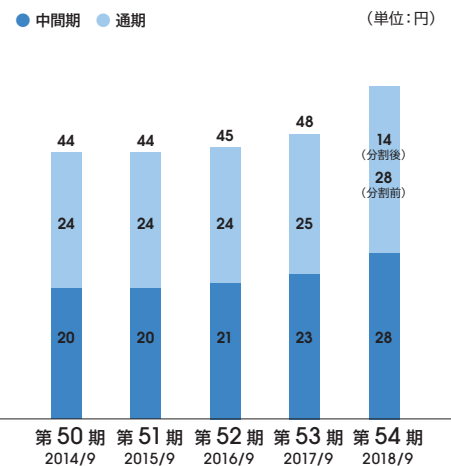
### 総資産



### 純資産



### 1株当たり配当金\*



※2018年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であるため、2018年9月期(予想)の期末の1株当たり配当金につきましては、当該株式分割を考慮しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2018年9月期(予想)の期末の1株当たり配当金は28円00銭であり、実質的な変更はありません。また、年間の1株当たり配当予想につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため表示しておりません。



代表取締役会長  
今井 博文

代表取締役社長  
武政 栄治

ご挨拶 代表取締役会長 今井 博文 代表取締役社長 武政 栄治

国民医療費は、年金及び介護費とともに社会保障費の重要部分を占めますが、保健医療の質向上の結果、高齢化が進み、薬剤費を含めたその費用は年々増加しております。当社が関わる医療用医薬品業界において、国民皆保険の堅持も踏まえた費用増を抑える行政方針のもと、毎年の薬価改定に加え、新薬創出加算の適用品目大幅削減等の薬価基準制度の運用が決定し、事業環境は益々厳しくなっております。

当社グループは、できる限り事業環境に左右されることがないように「Fuji Pharma ブランディング」をテーマに、「ブランド×ジェネリック×CMO」の当社独自の相乗発展モデルに基づき、戦略領域である女性医療と急性期医療分野を中心としたスペシャリティファーマを目指しております。独自で付加価値の高い医薬品事業をグローバルな観点から取り組み、医療に携わる人々や健康を願う人々からの信頼、共感、親しみを築き当社グループの経営理念「成長」と「貢献」の更なる実現を果たしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画

一人ひとりと会社と製品のブランド戦略を強力に推進	ブランド薬を中心にする新たなステージと体制を構築	グローバルなFuji Pharmaグループの事業展開を実現	
<b>中期成長戦略</b>	<b>戦略領域におけるブランド※1(新薬)×ジェネリック×CMO※2の独自相乗発展モデルの構築</b>		
	<b>ブランド (新薬)</b>	<b>ジェネリック</b>	<b>CMO</b>
<b>女性医療</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性ホルモン剤 / 新投与経路医薬品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性ホルモン剤</li> <li>抗ホルモン剤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【富山工場・OLIC】女性ホルモン剤専用工場棟</li> </ul>
<b>急性期医療</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診断用薬 / 販売権</li> <li>診断用薬 / 新効能・新容量医薬品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DDS / リポソーム</li> <li>抗がん剤</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>診断用薬</li> <li>その他注射剤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【OLIC】新注射剤工場棟</li> <li>【富山】新Multi-注射剤製造ライン</li> </ul>
<b>新戦略領域</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>【富山】バイオシミラー製造ライン</li> </ul>

※1 当社でのブランド：ブランド薬+ブランドジェネリック(承継品)+バイオシミラー  
 ※2 CMO:Contract Manufacturing Organization

上半期業績報告

代表取締役社長 武政 栄治

2018年9月期第2四半期連結業績ですが、売上高は17,961百万円、前年同期に比べ637百万円増加(3.7%増)となりました。以下に記載のとおり、ジェネリック造影剤の販路を当社に一本化したことに伴い、併売先の在庫消化による一時的な影響を受けておりますが、下期より全て自社販売となることで売上の回復と利益の増加を見込んでおります。第2四半期までの売上増加の主な要因は非イオン性造影剤オプトレイ®注、環状型MRI用造影剤マグネスコープ®静注及び子宮内膜症治療剤ジエノゲスト錠1mg「F」などの販売が好調によるものです。利益につきましては、粗利率は改善しましたが、研究開発費などの販管費が増加したことにより、営業利益は2,275百万円と前年同期に比べ横ばいにとどまり、前期に生じた為替差益の特別要因がなくなったことにより経常利益は2,360百万円(前年同期比6.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,743百万円(同2.6%減)となりました。

主力ジェネリック造影剤事業の強化と展望

当社の主力の造影剤事業ですが、コニカミノルタジャパン株式会社

(以下、コニカミノルタ)と国内にて共同販売しておりましたジェネリック造影剤の販路を当社に一本化することとなり、コニカミノルタが取引していた医療機関約1,800軒の営業基盤を全て当社が引き継ぎます。一方、ゲルバ・ジャパン株式会社から販売権を得ていたブランド造影剤3製剤の契約が本年9月末及び12月末をもって終了することとなりますが、これまでブランド造影剤事業で培った医療関係者との信頼関係を基にジェネリック造影剤の国内事業を更に強化してまいります。現在、行政主導のもと、ジェネリック医薬品80%のシェア普及に向けての取り組みが実施されており、当社のジェネリック造影剤は、高い品質の製品の安定供給と、1996年の上市以降蓄積してきた使用成績調査の医療機関へのフィードバック等が評価され、着実に市場シェアを高めております。今後は更なる医療費の伸びを抑制するため外来包括化も予想され、ジェネリック造影剤市場の拡大が見込まれます。当社におきましては、主力品であるオイパロミン®注とイオパーク®注を中心にその需要にしっかりと応え更なる国内シェア拡大を目指してまいります。また、タイ子会社OLIC社で製造した自社造影剤の一部規格品を日本市場向けに出荷を開始しており、タイをはじめとする海外市場に拡大する準備も進めております。世界のX線造影剤市場において、ジェネリック造影剤の普及は遅れておりましたが、新興国を中心に医療水準の向上等により造影検査が拡大すると予想され、大手ジェネリック原薬メーカー、海外ネットワークを有する商社と提携しながら世界のX線造影剤市場への進出を目指してまいります。

中期経営計画進捗

当社の中期経営計画は、挑戦、主体性、スピードの3つを行動指針として決め、戦略領域におけるブランド(新薬)、ジェネリック医薬品、CMO(受託製造)の相乗効果を創出し成果をだすことに注力してまいりました。ブランド薬ではウトロゲスタン®腔用カプセル200mgの上市に加え、同成分の100mg経口薬(開発コード：

女性医療領域の取り組み

女性のQOL(生活の質)とQOWL(労働生活の質)向上のために良質な医薬品を提供

	人口減少・少子高齢化		女性の活躍促進	
	思春期	成熟期	更年期	老年期
月経困難症治療薬	ルナバル®配合錠LD/ULD		NEW FSN-013	
経口避妊薬	ファボワール®錠21/28	ラバルフィーユ®錠21/28		
更年期障害			ル・エストロジェル 0.06% NEW FSN-011-01, FSN-014	
黄体補充	ウトロゲスタン®腔用カプセル			
排卵誘発	クロミッド®錠50mg	HMG筋注用	フォルリモン®P注	
月経周期調節	ルトラール®錠2mg	ノアルテン®錠(5mg)		
GnRH誘導体製剤	ブセレキユア®点鼻液	ナファレリール®点鼻液		

ルナバル®:ノーベルファーマ株式会社登録商標  
 ウトロゲスタン®:BESINS HEALTHCARE LUXEMBOURG S.A.R.L.登録商標

FSN-011-01)につきましては子宮を有する更年期障害女性を対象とした国内第Ⅲ相臨床試験を開始いたしました。また、海外メーカーより天然型卵胞ホルモンであるエストロールを含む新規ホルモン剤(開発コード:FSN-013、FSN-014)の日本及びASEAN向けの独占開発・販売権を取得し、国内市場では月経困難症及び更年期障害、海外市場では避妊及び更年期障害の適応取得に向けて臨床試験を開始いたしました。

その他、主力の新薬ルナバル®配合錠の販売を開始して以降、医療機関へ継続して子宮内膜症、月経困難症治療に向けた啓発活動を実施してきたことにより、2017年6月に上市した子宮内膜症治療薬のジェネリック医薬品ジエノゲスト錠1mg「F」の早期普及を実現、ブランド薬とジェネリック医薬品との相乗効果の成果も出ております。CMO事業においては、富山工場による抗がん剤の製造受託を開始するとともに、OLIC社による従来からの受託製造事業も着実に伸長しております。今後はOLIC社の新注射剤工場棟の生産能力を生かして日本及び欧米市場向けの他社製品の製造受託を獲得し更なるCMO事業の拡大を図ってまいります。

今後も成長戦略である「ブランド×ジェネリック×CMO」の独自相乗発展モデルをより一層発揮していくことで中期経営計画の目標達成に向けて邁進してまいります。

株主の皆様へ

当社は「優れた医薬品を通じて人々の健やかな生活に貢献する」という経営理念のもと、医療に有意な価値を提供するという想いを一つに社員一丸で難題に挑み続け、当社にしか出来ないことを成すことによって、医療現場に更なる貢献を果たしてまいります。戦略領域における新薬開発の強化、ASEANをはじめとした世界市場への参入を実現していくことにより更なる企業価値の向上を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENT 連結財務諸表(要約)

## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期 2018年3月31日現在	前期 2017年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	32,688	33,208
現金及び預金	5,624	5,503
受取手形及び売掛金	14,545	15,142
たな卸資産	11,593	11,486
その他	925	1,077
固定資産	17,160	16,342
有形固定資産	11,576	11,703
無形固定資産	2,463	2,709
投資その他の資産	3,120	1,930
<b>POINT 1</b> 資産合計	<b>49,848</b>	<b>49,551</b>
(負債の部)		
流動負債	9,548	11,513
固定負債	6,370	5,436
<b>POINT 2</b> 負債合計	<b>15,919</b>	<b>16,949</b>
(純資産の部)		
株主資本	33,228	31,887
資本金	3,799	3,799
資本剰余金	5,023	5,023
利益剰余金	25,910	24,541
自己株式	△ 1,504	△ 1,476
その他の包括利益累計額	698	711
非支配株主持分	2	2
<b>POINT 3</b> 純資産合計	<b>33,929</b>	<b>32,601</b>
負債純資産合計	49,848	49,551

## 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 累計期間 2017年10月1日から 2018年3月31日まで	前第2四半期 累計期間 2016年10月1日から 2017年3月31日まで
売上高	17,961	17,324
売上原価	10,042	10,189
売上総利益	7,919	7,134
販売費及び一般管理費	5,644	4,859
営業利益	2,275	2,274
営業外収益	113	283
営業外費用	28	22
経常利益	2,360	2,535
特別利益	3	0
特別損失	3	0
税金等調整前四半期純利益	2,360	2,534
法人税、住民税及び事業税	476	656
法人税等調整額	140	88
四半期純利益	1,743	1,789
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,743	1,789

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 累計期間 2017年10月1日から 2018年3月31日まで	前第2四半期 累計期間 2016年10月1日から 2017年3月31日まで
<b>POINT 4</b> 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,702	1,451
<b>POINT 5</b> 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 233	△ 780
<b>POINT 6</b> 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,332	△ 2,003
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 15	15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	121	△ 1,317
現金及び現金同等物の期首残高	5,503	6,815
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,624	5,497

## 財務諸表の解説

### **POINT 1** 資産について

売上債権の減少などにより流動資産が減少しております。

### **POINT 2** 負債について

OLIC社のリース債務が増加した一方で、借入金の返済や未払法人税等の支払いにより、負債が減少しております。

### **POINT 3** 純資産について

利益剰余金の増加などにより純資産が増加しております。自己資本比率は前期末に比べて2.3ポイント増の68.1%となりました。

### **POINT 4** 営業活動によるキャッシュ・フローについて

法人税等の支払額9億1千1百万円があったものの、利益の増加などにより17億2百万円の収入となりました。

### **POINT 5** 投資活動によるキャッシュ・フローについて

有形固定資産の取得などにより2億3千3百万円の支出となりました。

### **POINT 6** 財務活動によるキャッシュ・フローについて

長期借入金の返済による支出や配当金の支払などにより13億3千2百万円の支出となりました。

詳細な財務情報は、当社ホームページ 株主・投資家情報のIRライブラリをご覧ください。

アドレスはこちら <http://www.fujipharma.jp/ir/library/index.html>

富士製薬工業IR

検索

## アプリ紹介

当社では思春期から更年期まで幅広い女性の健康支援を目的としたスマートフォンアプリ「LiLuLa（リルラ）」を立ち上げるための準備を進めております。

現在、インターネットやスマートフォンの普及により誰でも健康に関する情報を気軽に入手できる一方で、エビデンスを伴わない情報も数多く存在しています。また身体の不調の裏側に潜むリスクを知らず症状を我慢している女性も多く、諸外国と比較して婦人科検診の受診率や産婦人科への受診度合いも低いのが現状です。

本アプリは健康面で悩みを抱える女性が正しい情報を基に心と身体を見つめ直し、解決の一步を踏み出す

きっかけとなることを目指して運営してまいります。なお、本アプリの内容は産婦人科領域でご活躍されている医師の先生方に監修をいただいている他、産婦人科領域の専門家として全国でご活躍中の医療従事者の皆様にも参加いただく予定でございます。

女性のための健康支援アプリ



※デザインにつきまして変更の可能性がございます。



## 【富山の「しごと」「暮らし」魅力発見サイト】PR動画公開

富山県が開設している【富山の「しごと」「暮らし」魅力発見サイト】に当社のPR動画が公開されました。富山県では、県外出身大学生の県内定着を図ることを目的に、富山県が誇る県内企業を選出の上、各社の魅力をCMや動画でPRする事業を実施しています。2017年10月に当社もその中の1社に選出され、2018年2月より特設サイト内にて紹介されております。

動画の中では富山工場、研究開発センターの詳細や当社の特徴、強みなどをわかりやすく伝えております。

富山の「しごと」「暮らし」魅力発見サイト つづく富山、えがく未来  
富士製薬工業(株) 紹介動画サイト  
<http://egaku-mirai.toyama.jp/company/fujipharma/>

採用情報ページ  
<http://www.fujipharma.jp/recruit/index.html>



## NEW PRODUCTS 新製品

### 子宮内膜症治療剤 ジエノゲストOD錠1mg「F」 製造販売承認取得のお知らせ

2018年2月に子宮内膜症治療剤であるジエノゲストOD錠1mg「F」の製造販売承認を取得し、6月より販売を予定しております。本剤は当社初のOD錠（口腔内崩壊錠）で水なしで服用することが可能です。また、当社のOD錠は優れた崩壊性を保ちながら、硬度低下がおきにくい製剤工夫を行ったことで、包装を簡素化することに成功し、廃棄物の減少による環境負荷及び調剤作業の軽減に貢献する製品となりました。

既に販売中のジエノゲスト錠1mg「F」と共に、患者様のライフスタイルに合わせた選択肢を提供することで子宮内膜症治療分野において更なる貢献ができるものと期待しております。



## 会社情報(2018年3月31日現在)

会社名	富士製薬工業株式会社 (Fuji Pharma Co., Ltd.)
所在地	〒102-0075 東京都千代田区三番町5番地7
設立	1965年4月
資本金	37億9,910万円
社員数	連結: 1,490名 (富士製薬: 727名、OLIC社: 763名)
事業所	本社: 東京 支店: 北海道・東北・関東第一、関東第二、名古屋、 京滋北陸、関西、中四国、福岡 工場: 富山 研究所: 富山研究開発センター
海外グループ会社	OLIC (Thailand) Limited <a href="http://www.olic-thailand.com/">http://www.olic-thailand.com/</a>

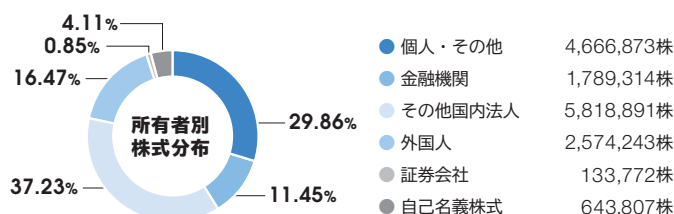
## 役員(2018年3月31日現在)

代表取締役会長	今井 博文	取締役(社外)	小沢 伊弘
代表取締役社長	武政 栄治	取締役(社外)	平井 敬二
取締役 副社長	笠井 隆行	取締役(社外)	三宅 峰三郎
取締役 常務執行役員	小澤 雅之	取締役(社外)	鈴木 正暢
取締役 常務執行役員	上出 豊幸	常勤監査役	井上 誠一
		監査役(社外)	三村 藤明
		監査役(社外)	佐藤 明

## 株式の状況(2018年3月31日現在)

発行可能株式総数	28,220,000株	
発行済株式総数	15,626,900株	
株主数	2,357名	
株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
三井物産株式会社	3,437,500	22.94
有限会社FJP	2,166,100	14.45
今井 博文	2,026,375	13.52
新井 規子	620,000	4.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	576,014	3.84
今井 道子	423,000	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	397,800	2.65
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	379,100	2.53
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	333,900	2.22
富士製薬工業 従業員持株会	182,390	1.21

(注)1.当社は、自己株式643千株(発行済株式総数の4.11%)を所有しておりますが、上記大株主から除外しております。また、上記持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
2.上記のほか、役員向け株式交付信託の信託財産として、三井住友信託銀行株式会社(信託口)が22,414株保有しています。なお、当該株式は連結貸借対照表において自己株式として処理しております。



## 株式分割に関するお知らせ

当社は自社株式の投資単位あたりの金額を引き下げることにより、自社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図るため、2018年6月30日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を対象に2018年7月1日付で1株につき2株の割合をもって分割いたします。今回の株式分割に伴い、2018年9月期の1株あたりの期末配当予想を14円00銭に修正いたします。なお、2017年11月10日に公表しております株式分割を考慮しない場合の2018年9月期の1株あたりの期末配当予想は28円00銭であり、実質的な変更はございません。

※当社株式分割の概要に関しましては5月10日に配信しておりますプレスリリースをご参照下さい。 [http://www.fujipharma.jp/pdf/20180510\\_nr.pdf](http://www.fujipharma.jp/pdf/20180510_nr.pdf)

## 株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日/期末配当金 毎年9月30日/中間配当金 毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) <a href="https://www.fujipharma.jp/ir/other/announce.html">https://www.fujipharma.jp/ir/other/announce.html</a> ただし、事故その他やむを得ない事由がある場合には、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 <郵便物送付先>〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 <電話照会先> ☎ 0120-782-031 <ホームページ> <a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第一部

### ●第54期中間配当金のお支払いについて

第54期中間配当金は、同封の「第54期中間配当金領収証」によりお支払いいたしますので、お近くのゆうちょ銀行全国本支店及び出張所並びに郵便局(銀行代理業者)で払渡期間内(2018年6月1日から2018年7月2日まで)にお受け取りください。なお、銀行預金口座への振込をご指定の方には、「配当金計算書」及び「配当金のお受け取り方法について」を同封いたしますので、ご確認ください。また、ご希望の振込先(株主名簿記載の住所)を選択された場合は、お振込先につきましては、お取引の口座管理機関(証券会社)へお問い合わせください。

### ●上場株式配当等のお支払いに関する通知書について

租税特別措置法の2008年改正(2008年4月30日法律第23号)により、当社がお支払いする配当金について、配当金額や徴収税額等を記載した「支払通知書」を株主様宛にお送りしております(同封の「配当金計算書」が、「支払通知書」を兼ねることになります)。なお、「支払通知書」は、株主様が確定申告をする際の添付資料としてご使用いただくことができます(株式数比例配分方式を選択されている場合は、お取引の口座管理機関(証券会社)へお問い合わせください)。



富士製薬工業株式会社 Fuji Pharma Co., Ltd.

■IRに関するお問い合わせ

本社/コーポレート企画部 〒102-0075 東京都千代田区三番町5番地7 精糖会館6F  
TEL:03-3556-3344 FAX:03-3556-4455

<http://www.fujipharma.jp/>

